

小中高連携の特別授業

～教員志望の生徒による“新米先生”特別授業～

11月13日（金）に小中高連携の特別授業が行われました。来校したのは長南町立西小学校の6年生12名で、大多喜高校に残る薬医門や大井戸などの歴史的遺構を教材に歴史学習をしました。



▲薬医門について説明しています。



▲自分の身体を使って、井戸の周囲の長さや深さを調べています。



新米先生役となった10名の高校生たちは将来、教員を志望しており、児童一人一人に丁寧に説明をしたり、一緒にフィールドワークを行ったりしました。薬医門の意味や柱の太さのひみつについてみなさんは知っていますか？大井戸の周囲の長さや深さをどうやって測ればよいかわかりますか？大多喜高校には歴史学習のおもしろさがたくさんあります。みなさんも是非大多喜高校に足を運んでください。